

# 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2003-117602
起案日	平成16年11月11日
特許庁審査官	安井 寿儀 9530 3E00
特許出願人代理人	西川 恵清 (外 1名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

## 理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

### ・請求項1

・引用文献等 1

・備考

引用文献1には、複数の使用者毎に区別して施療条件及びその変更内容の入力を行うための使用者入力キー（コースメモリー操作釦15）を備え、使用者毎に区別してメモリー部（メモリー部28）に記憶するようにしたマッサージ機が記載されており、本願の請求項1に係る発明は、引用文献1に記載された発明から当業者が容易に想到し得たものである。

### ・請求項2

・引用文献等 1, 2

・備考

引用文献2には、複数の使用者毎に区別して施療内容を予め記憶させておくことのできるマッサージ機において、使用者の体型情報を記憶させる技術が記載されている（段落【0018】に、マッサージを行う旨の記載あり）。

そして、この引用文献2に記載された技術を、引用文献1に記載されたマッサージ機に適用して、本願の請求項3に係る発明のようにすることは、当業者が容

易に想到し得たものである。

・請求項3

・引用文献等 1, 2, 3

・備考

引用文献3には、マッサージ機において、施療の際における椅子の状態情報を、複数の使用者毎に区別して予め記憶しておくことのできる技術が記載されている。

そして、この引用文献3に記載された技術を引用文献1に記載されたマッサージ機に適用する際、椅子の状態情報としてリクライニング角度の情報を記憶させるようにすることは、当業者において格別な技術的困難性は認められない。

・請求項4

・引用文献等 1, 2, 3

・備考

一つの機器を複数の使用者が共有して使用する際に、使用者を区別するための手段として音声認識を利用することは、様々な分野において従来より周知の技術であり（必要であれば、特開2003-60979号公報、特開2001-201779号公報、特開2000-305596号公報を参照）、引用文献1に記載されたマッサージ機における使用者入力キー（コースメモリー操作釦15）に代えて、音声認識部を備えることは、当業者において格別な技術的困難性は認められない。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2002-369862号公報
2. 特開2002-360387号公報
3. 特開2002-136562号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 A61H 7/00 , 15/00
- ・先行技術文献 (1)特開2000-210358号公報  
(2)特開平7-323066号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由について問い合わせがあるときは、次の連絡先にご連絡下さい。

連絡先 特許審査第二部 福祉・サービス機器

整理番号:03P00819 発送番号:418809 発送日:平成16年11月16日 3/E

安 井 寿 儀

TEL. 03(3581)1101(ext.3344)

